

(別紙5)

整理番号 2018P-215
補助事業名 平成30年度非常災害の援護補助事業「青少年赤十字防災教育の教材作成」
補助事業者名 日本赤十字社

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

小学生から高校生向けの防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び幼稚園児・保育園児向けの教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」の両教材が、引き続き全国の教育の場にて広く普及され、子どもたちが「自然災害の正しい知識」を身につけ、「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」をとることが出来るようになる。

(2) 実施内容

http://www.jrc.or.jp/activity/youth/news/190507_005705.html

【「まもるいのち ひろめるぼうさい」15,000冊の制作】

- ・本教材では、地震や津波、火山災害など災害ごとの正しい知識を学ぶことが出来る。また、避難所に持っていくモノを考えたり、自分の一番大切なものをグループで議論しながら主体的に考える学習もある。
- ・気象庁の協力により、災害ごとの映像教材が収録されている。また、「思いやり、優しさ、いのちの大切さ」「コミュニケーション力」「想像力」を育むテキスト教材・資料が盛り込まれており、児童・生徒が主体的に防災に取り組めるような内容になっている。

【教材活用促進の動画6本の作成】

冊子「まもるいのち ひろめるぼうさい」を広く普及するため、本教材の活用方法や児童・生徒及び指導者へのインタビューなどを小学校・中学校・高等学校別に福岡市立小笹小学校・川越谷市立霞ヶ関小学校、荒川区立諏訪台中学校・高槻中学校、沖縄県立首里高等学校・福島県立白河旭高等学校の6校で撮影した。

【「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」教材2,000セット制作】

- ・幼稚園・保育所向け「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」教材については、小～高等学校向け「まもるいのち ひろめるぼうさい」冊子のコンセプトを活かした

(別紙5)

つ、幼稚園・保育所の園児でも取り組むことができる防災教材となっている。園児に飽きさせない、可愛らしい絵が特徴で「まちがいさがし形式」で、地震、大雪、津波、風水害など様々なテーマがあり、先生から園児へわかりやすく教えることができる内容となっている。本教材を2,000セット作成した。



2 予想される事業実施効果

「まもるいのち ひろめるぼうさい」、その教材活用促進の動画6本、並びに「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」教材が全国で活用され、子どもたちが「自然災害の正しい知識」を身につけ、「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」を取ることができるようになり、子どもたちの命を救うことができる。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）

住所： 〒105-8521

東京都港区芝大門一丁目1番3号

代表者： 社長 大塚 義治（オオツカ ヨシハル）

担当部署： 総務局 財政部 契約課（ソウムキョクザイセイブケイヤクカ）

担当者名： 主事 伊藤 大智（イトウ ダイチ）

電話番号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E - m a i l： keiyaku@jrc.or.jp

U R L： <http://www.jrc.or.jp/>